

先月、6年生の教室でいじめについて考える授業を行いました。子供たちの意見をいくつか紹介します。

◎ 具体的な場面から、「いじめ」について考えよう

AさんとBさんはとても仲が良いです。いつも一緒に遊んでいます。でもある日、Aさんからの遊びの誘いに対して、Bさんは「行かない」と冷たく言いました。Aさんが「どうしたの?」と聞いても「別に」と一言。

Aさんは、少しショックでしたが、別の仲良しのCさんと遊び、気持ちを切り替えました。Aさんは、Bさんから冷たくされたことを、Cさんに言いました。Cさんは、「信じられない。Bさんひどい。」と、Aさんの味方になるとともに、このうわさをどんどん広めていきました。

学校ではBさんを避ける人が増え、オンラインゲームの中でもBさんの悪口を言う人が出てきました。Bさんに対してかなりひどいことを言う人もいたり、想像で悪口を言ったり、「もっと広めようよ」と言ったり・・・。

Aさんは、こんなことになるとは思わず、どうしたら良いか困ってしまいました。



◇あなたがAさんの立場だったら・・・

①周りの友達にどんなことをしてほしいですか。	②この後、どう行動しますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・想像でBさんの悪口を言わないでほしい。 ・Bさんに言いたいことがあるなら直接伝えてほしい。 ・Bさんの噂を広めるのを止めてほしい。 ・Bさんに対して優しい言葉を掛け、寄り添ってほしい。 ・Bさんのことを避けるような態度を止めてほしい。 ・話を大きくせず、静かに様子を見守ってほしい。 ・Bさんの噂が誤解であることを広めてほしい。 ・噂を広めた人はBさんに対して謝ってほしい。 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・Bさんが困っていたり悩んでいたら相談に乗る。 ・先生や親、スクールカウンセラー等に相談する。 ・Bさんが遊びを断った事情を確かめ、必要であれば謝る。 ・勝手に噂を広めている人がいたら注意する。 ・Bさんと対話し、思っていたことを伝え合う。 ・「Bさんは悪くない」ということを自分がみんなに伝える。 ・Cさんに「噂を広めるのは止めてほしい」と伝える。 ・気持ちを切り替え、Bさんが話しやすい雰囲気をつくる。 等

◇学習感想から・・・

- ・友達にしてほしいことがあまり思い浮かばなかったけど、3人組の話し合いで友達の意見を聞いてほしいことが思い浮かんだ。いじめというのは、ほんの少し冷たくただけで起こってしまうこともあるんだなと思った。
- ・自分がどの立場になるのかが分からないのが少し怖いと思った。たった一人に言っただけで、全体に広まってしまうことがあるのは気を付けないといけない。
- ・最後にいじめの構造を知ることができてよかった。いじめについて深く考えたことで、いじめについて少し知ることができたような気がした。自分も気を付けようと思った。
- ・「被害者」や「加害者」はもともと知っていたけど、「傍観者」は聞いたことがなかった！前までは被害者が一番大変だと思っていたけど、傍観者の方も大変だということが分かった。結局一番誰が大変なのかが気になる・・・
- ・このケースの場合、どちらも悪くて、どちらも悪くない。必ず理由があるはずだから、もしこうなったときには1対1で話してみることが大切だと思う。
- ・いじめがどんなことで起きてしまうのか、友達にどうしてほしいか、どんな行動をすればいいかが分かって安心した。これからも相手がどんな気持ちになるのかを想像しながら生活していきたいと思った。
- ・いじめがだめなことも分かっていたし、しちやいけないのも分かっていたけど、またより一層知れたり、その人の気持ちにもなったりできてよかったと思った。これからもしっかりと考え続けていきたい。
- ・思ったよりみんな違う意見で勉強になった。やっぱりたまにみんなでいじめについて考える時間は必要だなと思った。
- ・いじめはいつ起きるのか全く分からないし、普通の会話から話が膨らんでしまい、いじめにつながっていくかもしれないんだなと思った。でも、いじめで困ってしまったら頼れる先生や友達に相談をしたい。いじめをしないように、相手が傷つかない言葉遣いを心掛けたい。
- ・いつ自分が加害者になってしまうか分からないので、常に思いやりの気持ちを持って友達と接したいと思った。自分の行動が何か大きないじめをつくらないように、日頃から気を配りたい。
- ・少しの誤解や行動で、いじめにつながることもあるんだなと思った。AさんとBさんの会話の中で、何かもう少し付け加えて話していたり、Cさんへの相談内容を工夫したりしていれば、いじめ等の問題にはならなかったのかなと思った。私は、前に先生が言っていた「考える」は、こんな場面でも大切、大事なんだなと思った。

子供たちの考えに触れ、授業をしているこちらにも勉強になる時間となりました。このような授業実践を通し、子供たちと一緒に考える機会を共有することも、いじめの未然防止につながり得ると感じました。今後も各学級でいじめ防止につながる授業や取組を日々重ねてまいります。どうかご家庭でも折に触れ話題にいただければ幸いです。